～～*～

このうち、「キノホルム」と「薬害肝炎（C型肝炎）」の被害者数が約1万人とされます。

先月「新型コロナワクチン接種後」に「健康被害が出た」患者らで作る団体が、厚生労働省へ「国の救済制度の認定審査が長引いている」として、迅速な審査や審査状況の可視化などを求め、同省内で記者会見も行い「症状に苦しむ人がいることを知って欲しい」と訴えました。

[出典] 毎日新聞Webサイト「コロナワクチンの後遺症に苦しむ人いること知って　患者ら会見」より
https://mainichi.jp/articles/20230724/k00/00m/040/184000c

2023年7月14日現在、政府の「予防接種健康被害救済制度」への申請は「8,138件」にも達し、「4,000件超」についてはまだ「認定結果」さえ出ておらず、わずかに「3,362件」が被害認定され、467件は否認されています。

相変わらず、政府の「予防接種健康被害認定」は遅々として進まず、なかなか「認定」してもらえません。

この「mRNA薬害」被害者のうち、申請を「まだしていない」件数を合わせれば、「戦後最大の薬害事件」となることは間違いありません。

通常、このような事態になれば「社会問題」として、記憶に新しい「薬害エイズ」でも「C型肝炎」など連日メディアで報道され、大事件となるはずです。

ところが、どのメディアも「日々の交通死亡事故」は取り上げても、なぜか「mRNA薬害」については、ほとんど報道しません。

厚労省が認定した「コロナワクチン接種後の死亡数」が、すでに「100人を超えている」のにも関わらずです。

厚労省の審査会が「健康被害救済制度」にもとづき、遺族へ「死亡一時金」を支払う救済認定をした合計は「103件（6月26日現在）」となり、死亡の被害認定が100人を超えたのは「新型コロナワクチンが初めて」となります。

[出典] Yahooニュース「コロナワクチン接種後死亡の被害認定100人を超える　厚労省、情報開示に消極姿勢」より
https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/a1b8015a51c2022f22ec6115fbdcb137ace73783

さらには、NHKが「コロナワクチン接種後に死亡した遺族へ取材」しておきながら、番組では「コロナに感染して死亡」という虚偽報道を行い、謝罪会見をする事態まで起きました。

[出典] TBSニュースWebサイト「NHKが報道局職員らを懲戒処分　「ニュースウオッチ9」で“不適切な伝え方”　コロナワクチン接種後に死亡した遺族への取材・放送めぐり」より
https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/617854?display=1&mwplay=1

2. 戦後最大の超過死亡数について

　世界保健機構（WHO）の推計によると、2020～21年における全世界の「超過死亡数」は「約1,483万人」に上ります。

この推計値は、同期間中に報告されたCOVID-19を原因とした死亡（COVID-19死）件数の約3倍にも相当します。

　では「約3倍にも相当」する「コロナ以外」の死亡者は、何が原因なのでしょうか。

　日本では2023年4月5日、国立感染症研究所などが、2022年の「超過死亡」が最大「約11万3千人」に上ったとの推計を発表しました。

　あくまで「超過死亡」は「前年比」なので、2021年の時点ですでに「前年比6万7745人の死亡増」でしたから、2020年と比べれば「約3倍相当の死亡数」となっています。

　2021年と2022年の「超過死亡数」を合計すると「約18万人」になりますが、厚労省が「新型コロナによる死亡」としているのは、これまでの累計で「約6万人」です。

　では残りの「約12万人」は、何が原因で死亡したのでしょうか。

[出典] 国立感染症研究所Webサイト「日本の超過および過少死亡数ダッシュボード」より
https://exdeaths-japan.org/graph/numberof/

　名古屋大学の小島勢二 名誉教授は、2020～22年の年齢別に見た超過死亡の発生について、「21年以降に見られた死亡率の激増を考慮すれば、21年から開始されたワクチン接種が引き金となった可能性は否定できない」と結論付けています。

　ほかにも、mRNA薬害に関連する論文が次々に発表されています。

[参考] 医学中央雑誌刊行会Webサイト「新型コロナワクチンに関する文献」より
https://www.jamas.or.jp/special/covid19/more_2.html

３．奇妙なメディアの報道について

　これまでも当コラムにて「陽性と感染の違い」など、メディアによる「新型コロナに関する誤報」を伝えてきましたが、今のメディアによると「現在、コロナ第9波」なのだそうです。

　そもそも「コロナの感染を防ぐために、緊急承認したワクチンを」ということだったのに、今だに流行している時点で「mRNAは、ワクチンではなかった」という証左ではないでしょうか。

　本来の「ワクチン」であれば、接種後「1週間程度で、体内に抗体が生成され、感染しなくなる」しくみだからです。

免疫のしくみや抗体、ワクチン接種の意味などについては、当コラム第167回でお伝えしたとおりです。

[参考] Webマガジン第221号・コラム第167回「免疫とワクチン接種の意味について」
https://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/info_web221.html

「mRNA」接種が始まった頃には、接種すれば「発症を抑えられる」と言っていたのに、接種した人の「新型コロナ感染者」が増加すると、突然「ブースター感染」が起きているので「1回の接種では足りない」と言い出し、「2回の接種で発症を95%抑えられる」と変えてきました。

しかし、「mRNA」を2回接種してもなお感染者が増加すると、今度は「感染予防」ではなく、「重症化予防効果がある」と言い換えられるようになりました。

こうしてすでに、明確に「mRNAには発症を抑える効果がない」と判明しているのに、「接種は無料なので、3回目を、4回目を」と支離滅裂なことを言い出しました。

挙げ句の果てには「日本が“新型コロナ感染者数”が世界最多」であり、「コロナ第9波」だから、「mRNAを5回以上接種してください」と言い出す始末です。

命に関わることです。このような「健康被害」から自分たちの身を守るべく、しっかりと「医療災害に対する防災」を実践していきたいものですね。

by Hirono

～～*～

～～*～

♪見守りケロタンからのお知らせ♪
・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。

◆SignalNow X（無償版）　ダウンロードサービス実施中！！
http://www.estrat.co.jp/signalnowx.html
https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/signalnowx/

－－★

◆新津波電文対応 SignalNow Lite、販売中！！
気象庁の新津波電文に対応し、津波警報・注意報も通報することができます。
「高度利用者向け緊急地震速報(予報)」を利用した通報システムです。
http://www.estrat.co.jp/snlite.html

・～・・～・～・～・～・～・～・～・発行元・～・～・～・～・～～・～・～・～・

ストラテジー株式会社
〒182-0023　東京都調布市染地 2-14-50
SignalNow シリーズの開発・配信事業を行っています。
緊急地震速報　地震動の予報業務の許可事業者　許可第 198 号
http://www.estrat.co.jp/

・～・・～・～・～・～・～・～・～・編　集・～・～・～・～・～～・～・～・～・

株式会社小林洋行コミュニケーションズ　SignalNow デスク
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町 1-15-7
https://kobayashiyoko-com.jp/sn/

――――――――――――――――――――――――――― Copyright 2023 Strategy Corporation.